

新潟県

公民館月報

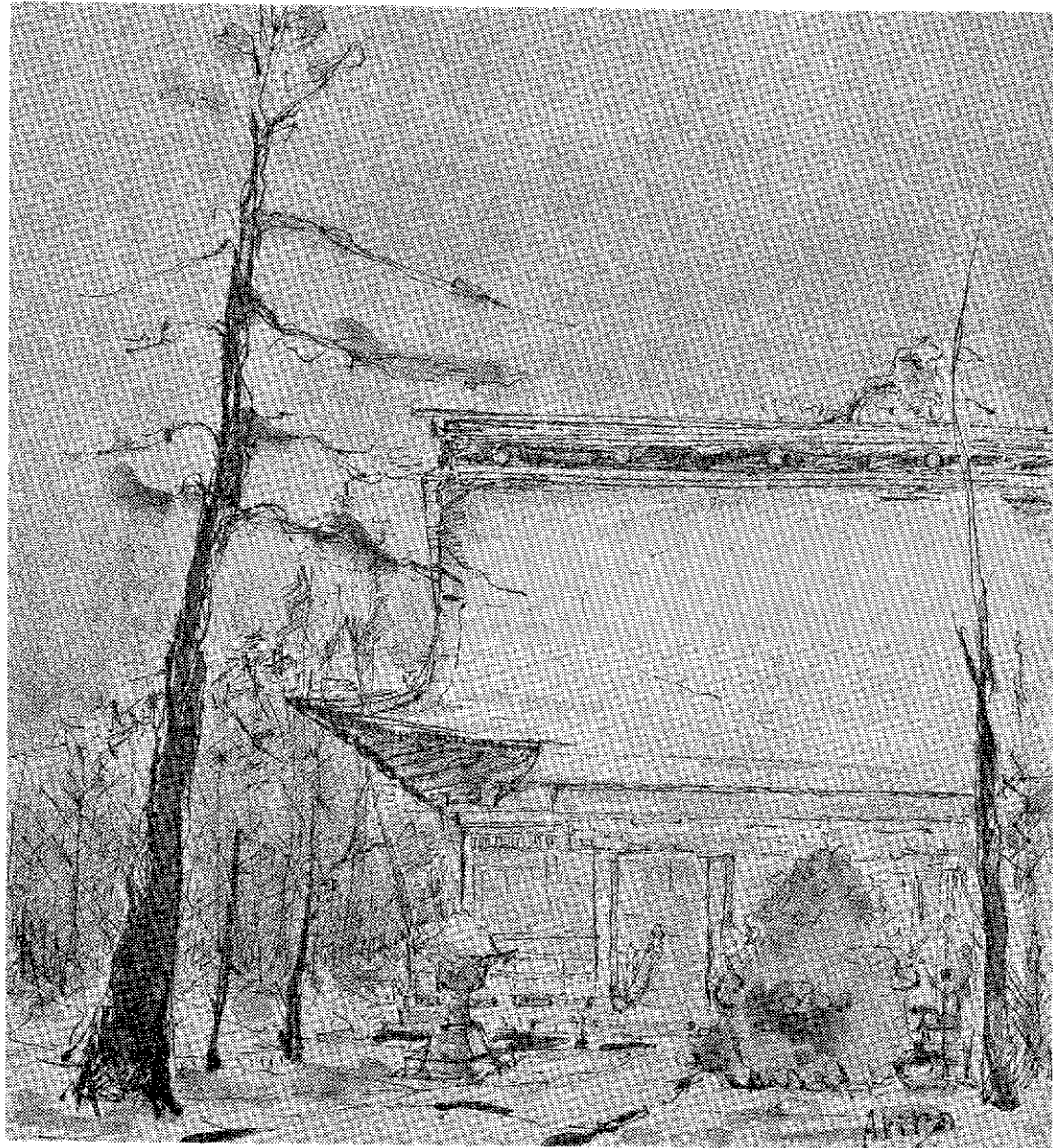
昭和53年2月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番瀬通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟)23-5511 内線3670】【振替新潟
4094】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共・年販 840円】



越後国分寺

七世紀末、越後の国府は交通の要衝である直江津におかれた。天平十三年の国分寺建立の詔勅によって、当然この近くに越後国分寺が建られたはずだが遺跡は明らかになっていない。しかし越後国分寺がこの地に存在していたことはいくつかの文書に残っており確かである。

今の国分寺は上越市五智にあり、鎌倉時代にこの地に建立され永祿五年(一五六二)に上杉謙信により改築された。その後火災により再三再建され、今の建物は寛政九年(一七九七)落雷で焼失したあと再建したものである。

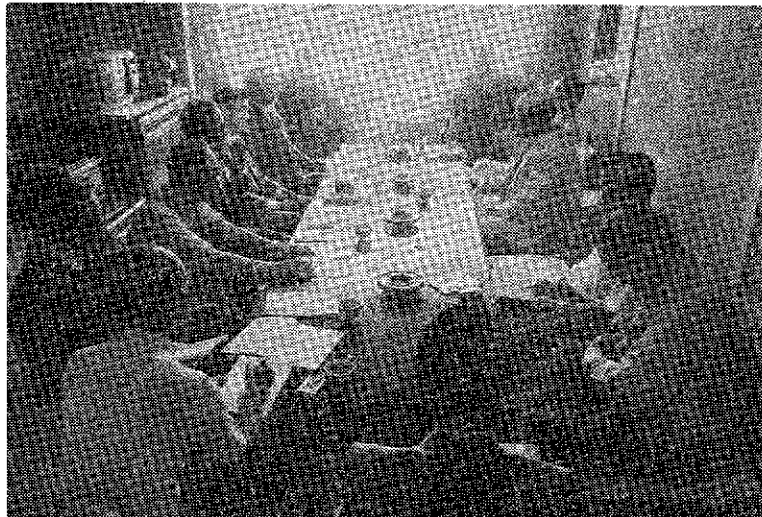
親鸞は国分寺の境内の一隅に草庵を結び禪居し、国分寺所蔵の多くの仏書を読みあさりこれが後に真宗聖典として有名な教行信証を著すものとなり、宗教改革の宿願を果たしたと言われている。この歴史ある国分寺を郷土の誇りとしていつまでも大切にしていきたいと思う。

(史蹟国分寺より)

(絵・上越市公民館・

主事・大滝 彰)

関公連(静岡)大会報告



はじめての試みながら意義大きかった市町村長分科会

昨年九月一・二日の両日、全国公民館大会(新潟)にさきがけて開催された第十八回関東甲信越静岡大会、この大会には、新しく「市町村長分科会」と銘うち、公民館振興市町村長連盟のきも入りによる分科会が設定され、成果をあげた。そのときの討議内容を「関東甲信越静岡公民館大会報告書」から抜粋して紹介する。

※・社教主事・公民館主事をもっと行政を勉強する必要がある。

- ・市町村長に社会教育の情報の入り方が小さい。具体的に提供すべきである。
- ・市町村長の仕事も物理的なものでなく精神的なものが必要な時期にある。
人と人との間に橋をかけ、人間開発が重要だ。
- ・運営審議会の機能も麻痺することがないように進めることが必要だ。

3. 公民館建設に向けて

- ・事業も活動もそうだが、首長がその気になれば出来るものだ。金も補助金や市費でやることだ。
- ・連盟もより強力にしなくてはいけない。
- ・再建整備団体でも全域に一般財源をもとにして整備した所がある。その気になれば出来るものだ。

市町村長分科会

——公民館への提言——

司会者 全国公民館振興市町村長連盟
事務局長 田中一郎

助言者 新潟県公連
会長 石井耕一
石川県公連
理事長 谷口正幸

○公民館振興のために館長や主事、職員が主軸となって各種の研究活動を進めているが、行政上の振興方策については市町村長の理解が必要だし、市町村の直接責務なのでどうしても市町村長が主軸となって研究を進め公民館の振興を計るべきだと考えた……積極的な参画を願いたい。

1. 各都県の状況

- ・岐阜県では国の市町村連盟結成と同時に県の連盟が発足、総会・理事会がある町村の場合は直接町村長が出席する。市は代理が多い。(岐阜)
- ・新潟県はまだ理解が少ない。公民館類似施設の建設が多く、公民館への理解が少ない。しかし、県公連分担金など働きかけでここ4年間で3倍強になってきた。(新潟)
- ・静岡県は市町村が推せんする教育長又は課長で幹事会を設けて振興のため活動している。(静岡)

2. 公民館振興について

- ・公民館振興は演説では駄目だ。全国市町会から国へ要望してゆく必要がある。
- ・ふるさとづくり運動を展開、これを公民館を中心にして始めている。又、公民館へ若手を入れ館長として頑張ってもらっている。※

石井 市町村長さんの仕事も物理的なものだけではなく、精神的なものが必要な時期にきている。社教主事をもっと行政の勉強をすることだ。

服部 首長がその気になれば教育委員会も反対しない。又、館長を呼んで直接話し合っている私の市は将来部課長になるような優秀な職員を配置している。

尾関 町長は教育の情報が一番少ない。情報の少ないところ選択はない。公民館内部の打合せに町長が出る。大変勉強になる。

谷口 情報選択のための資料提供が必要である。

石井 市町村長連盟をさらに拡大し、ご活動をお願いしたい。

服部 全国市長会にも強力に働きかけることだ。補助金を増し、他は市費でやる方法しかない。必要な予算をたてればよい。

○この分科会は初めてなので、参加者が懇談会形式におこなったものをまとめたものです。

都道都市分科会

新しいコミュニティづくりと生涯学習の態勢づくりをすすめるための方策

- 司会者 神奈川県公連 副会長 志村良平
 助言者 静岡県公連 会長 国持史郎
 千葉県公連 会長 釜津馬之助

1. 市町村一般行政との連繋と問題点 (コミュニティづくりを主眼点に)

- ・連繋と云う前に行政の復合面がある。このだぶりの面をどう処理してゆかか。
- ・縦割行政なので問題がある。特に青少年関係では末端で2つに分れる。
- ・社会教育や公民館は一般行政の補助的なものではない。一本芯が必要だ。
- ・公民館機は機能が充実しないといけない。
- ・コミュニティセンターが建設されて来ている。これと公民館との関係が難しい。
- ・コミュニティは住民の自主的な運営で、公民館は学習施設と機能をとおしてそれをたすけていくものである。
- ・全国の自治会組織が増え充実して来ている。コミュニティはその中の隣保組織を近代化した組織にしてゆくべきだ。
- ・関西の例だが、コミュニティセンターと中央公民館が対立している所がある。
 自治省は住民の中から選ばれた審議会を大切に、一方公運審の役割を重視したい。



「誰がつけたかその名を言半生級……」とこのことが流行した。公民館創設当時、公民館



は「燈の海上を照らす灯台の光になる」とか、「秘漢の中のオアシスであった」といわれて

県公連をサロンに

猪股武雄

編纂者が本欄を「灯台」とし、この「来たかどうかは知らないが、当時の公民館関係者は、この「灯台」を心をつなぎ、茨の道を開いたように思う。社会教育に生き甲斐を感じ、生涯これに取り組みうた方もあつて、気晴し研

とした気概が「公民館人」とか「視覚の人々」といふことばによく現われていたのはなかならうか。勤務数の長いベテラン公民館主事や各地におつて、新潟県庁で働く必、社会教育課(県公連)に立ち、近畿圏に統一している、多士

2. 他の機関・施設・団体との連繋と方法

- ・公民館に他団体の事務局がある。むしろ公民館でやっている所が多い。
- ・公民館ベッタリの団体がある。距離をおいて自立させる必要がある。
- ・団体の自主性を犯さないように、それには職員も質的に専門職化してゆかないといけない。
- ・法制度が必要だ。
- ・自治公民館が多くある。これと公民館とのかわり合いが大切だ。
- ・自治公民館は歴史が古いが大分近代化している。現実の姿をとらえ接点を考えることが必要。
- ・自治公民館も住民主導型と、行政主導型とある。自治公民館の運営は今後一つのあり方として研究討議したい。
- 3. 住民の自主的活動への公民館の接し方(助言を含む)
 - ・部落組織での行事や学習に社教の出前を行なう。つま

※り公民館から指導者をつけて協力する。

- ・都市・近郊を含めて新・旧住民の率に変化、これに伴ない問題が多い。
- ・連帯意識の向上も目的だ。古いボス的な人と新しい人の溝をうめる工夫が必要。
- ・又、定住性のない人は連帯感が薄く、地域行事にも非協力。
- ・連帯を育てるため、休耕地利用の家庭菜園講座をやった公民館、公民館農園を造り、新しい人に呼びかけ、収穫祭などを行なった。

4. コミュニティと公民館

- ・コミュニティは隣人愛や生がいのある社会の創造、生涯教育の目的は個々が日常生活に楽しく送れることをつくる、人間らしい人づくりが大切だ。
- ・その中で公民館は何を分担すべきかはっきりしておくこと。
- ・コミュニティの基礎づくりが公民館の役割の一つだ。
- ・コミュニティと公民館活動と一緒にした活動は出来ないものか。
- ・関プロ・全国大会のような場で実践方策を話し合う必要がある。
- ・公民館に集り、学ぶ、これはコミュニティと生涯教育の実践だ。未来を洞察し、社会の変化に対応することが職員も必要だ。そして地域づくりのアシスタントとしての役割も多い。

(日根市立図書館長)

南 魚 大 和 町 公 民 館

実践記録シリーズ

34

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

ラジオ体操を誘致

「みんなのでやろう健康づくり」

全国の皆さん、おはようございます。八月六日土曜日の朝の体操の時間です。今朝は、新潟県南魚沼郡大和町にやって来ました。……さあそれでは、大和町の皆さんと「一緒に元気に体操をやりましょう。」



この声が、ラジオを通じて全国でも優良団体として郵政省等から放送されました。一應、健康で明るい生活を営むために町民参加の体力づくりの一環として、五十一年度より本格的に実施して来たラジオ体操を、今年も更に普及させ、あわせて当町開催のNHK全国放送による巡回ラジオ体操会を成功させるため、町民総参加を呼びかけ、各町内、職場等でラジオ体操を実施してきました。

これについては、県派遣の談路スポーツ主事の責任以来、指導助言を得て企画立案に着手し、実践にかかり各町内の早朝ラジオ体操会の開催や、NHKの巡回ラジオ体操会の誘致にも成功し、昨年は耐寒ラジオ体操会を開催し、職場巡回ラジオ体操会(無点灯)も、

でも優良団体として郵政省等から表彰される等、かなり定着しています。本年度の基本方針は、①広報活動の徹底、②ラジオの全戸配布や関係方面への依頼、③ラジオ体操会の開催、④町内、職場等の早朝体操の実施、⑤指導者の養成、確保、⑥NHK全国放送による巡回ラジオ体操会に参加、⑦各地区ラジオ体操会との連携、巡回指導、ラジオ体操指導者チームの設立、⑧夏期巡回ラジオ体操会及び第三巡回民耐ラジオ体操会の開催、⑨表参ラジオ体操実施の優良団体(職場、町内)に対して表彰する。



全町のあちこちからもラジオのかけ声がひびく

盛り上げの頂点を持って行き、あり、終つてから、お互いの中し合わゆる手段でPRし、体育指導委せたお茶や菓子を持ちよ員が中心となり、各町内の早朝ラジオ体操会の普及に力をそそぎました。当町も、テープに録音されました。町内の一角、道路のすみ、町内等に無断で配布したり、指導者を派遣したり、各地区で、ラジオ体操をやる若男女の聖会を開くなど、普及の条件整備に万全を期しました。その結果、朝の六時頃、各町内等から、ラジオ体操の元気な声が聞こえてくるようになりました。自分の駐車場を開放してくれたり、区長・町内会長・分館長等が率先して身先をかけたがありました。そしてついに来た

八月六日のNHK全国放送による巡回ラジオ体操会が当町にとって画期的な行事でした。前日そして開始寸前までの準備、しかし、開始時には、カラッと晴れ、予定通り実施。その様子が全国に放送されたのです。予定参加数二千名、町民の皆さんは待っていました。はせ参じてくれ、二千名の参加者となり、整備された町営グラウンドで、一糸乱れぬ体操を展開しました。表に盛大でした。この行事を機に、まずまず、このラジオ体操が当町に普及し、生活の中に定着し、町民の体力づくりと、明るい家庭づくりに役立てばと願っています。そのための努力を、これからも展開したいと思っています。

あの手がすがしい朝のひと時、なごやかにラジオ体操をしていられる若男女、親子の姿、そこにほのぼのしい人間性回復を願う健康美が感じられ、公民館事業に対する純白感と、社会体育の本質を見たいような持でした。

(南魚沼郡大和町公民館長 川島 雅夫)



糸魚川市中央公民館

爆笑と汗と

区長さんもボールひろい

支館対抗バレーボール大会

昭和五十二年十一月十三日、白で、参加者は指定されてしまつて馬おろしは、身をさすほかに冷たい。それでも今日は、毎週練習をした成果の現われる「糸魚川地区公民館対抗バレーボール大会」の日にあつた。十四地区より成る中央公民館活動は、多聞・講座・教室等を開催してきているが、糸魚川地区特有の生活事情

「婦人自身の生活や家庭生活の變化は、婦人の社会活動への参加を誘ふ外、地域における進歩意識が失なわれがちとなり、積極的な意欲をもつて参加する人は限られてくる。心の豊かさを求め、社会連帯意識を高めるために、団体活動がより積極的に展開される必要があり、婦人自身の意欲的なボランティア活動者の育成と充実を図りたい。」との願いを四月より地区公民館長会議や運営協議会に提案し、再三にわたる協議の結果、地区公民館対抗バレーボール大会の実施を決定、練習のための施設開放、用具等の準備は我々の担当となり、練習計画は各公民館の自主性にまかせたのである。

式 開 会 の 々

ただ、一つの申し合せとして、大会のための練習でなく、その練習の内にも人間の和と「体力づくり」を盛り込むことであつた。夜間の練習日には、支館長さんを始めとして、区長さんもボール拾いや応援を譲りわけて、いやがうえも大会熱があがってきたのである。おそろしく選手になった家の家族ぐるみの応援であつたに違いない。三、四年前までは地区連合婦人会で実施していたこの大会も、役員の手がな中止されていたのであるから、どそれだけの参加を得られるか、内心びくびくしていたところ、十四公民館から八チームの参加申込みがあつた。

早速、参加選手にはスポーツ傷害保険の加入を要請、わが方では若干のツ傷保険加入補助金を出すことに成功、これですますます喜ぶ対笑は終了。大会当日の使役は地区内の体育指導員をお願いし、審判員は市排球連盟に依頼したのである。大鼓による地域ぐるみの応援で開始された第一回大会の選手宣言も最年長者より選び「……人倍大きいヒップと肉体でおもいきり戦つてを誓います」。一五〇名の名の応援席からやんやの拍手でバレーボールとなったのである。珍

大 会 経 費	
謝 礼	9,000円
賞 品	7,800円
加 料	12,000円
参 加	3,000円
消 費	16,950円
ボ ー	48,750円
ッ	
ス	
加	
合	

ゲームに爆笑と汗で、会場はなんともいえない雰囲気、今日だけは若いママさんも始さんの応援を受けて、はつらつとしている。支館長さんも区長さんも身をのり出して、わがチームの得点に一喜一憂。スポーツを通してコミュニケーションを深めることは大変良いことと、理屈抜きである。大会が終つて各公民館で盛大な反省をし、年間練習計画や、練習ボールも区で買つてくれることが決まるとさうである。形だけの申し合せでなく、本言に支館をあけての地域作りの出来るのも夢ではないような気がする。県下の婦人教育レベルが向上しているなかで、ヨチヨチ歩きなのが公民館であるけれども、地域の人と共に考え、実践してゆく公民館活動の夢は、ますます広がります。

（糸魚川市公民館長）

長年の実績と信頼を誇る 記念品シリーズ

◎本書はどのように広く利用されていますか

全園市町村の成人式・各学校の卒業記念品・就職祝い・青年学級・婦人学級・社内教育のテキストや各団体の賞品等にも大好評！

※二審定により、祝賀所名印刷代という特典があります。その他、注文回数により特価差し上げますので、お気軽にお申し合せください。

社会人手帳 文学博士 木下一雄 監修
新書判 定価五五〇円送料別
記念品として全国一の美観を誇る、既に一五万円を超える青年に利用されています。社会人として欠かせない知識と教養を高めるポケット百科事典として大好評！

社会人と法律 弁護士 中村 弘 監修
新書判 定価五五〇円送料別
法律の無知から人生を過すことがありません。法律常識を平易に懇切に解説し、日常の暮らしに役立つ。特に社会人として役立つ青年への記念として毎年採択が増えています。

社会人とマニツト 日本社会教育普及会 編
新書判 定価五五〇円送料別
エッセットの基本をよくわかっておきたい。人間関係を左右するカギであると言われます。基本から応用動作を写真や図を多く載せた、携帯便利ポケット版です。

考える本 日本VTR公開 永井三郎 監修
普及版 定価五〇〇円送料別
各分野の一流諸先生が寄せる示唆に富む、珠玉のエッセイ40編を中心に、人間として生き抜くために「考える」ことを原点とし、読者の思索を刺激し、価値を創造する。

新しい人生 法学博士 中村 哲 監修
新書判 定価五五〇円送料別
人生の師となる人々の金言・教訓をはじめ古今東西の詩や歌・格言等を満載し、とくく物質文明に流され易い現代、新しい人生に始出する若者の心の糧となり読本として好適。

郵便番号 一三三(東大正前)
東京都文京区本郷六-九-一五
本郷局私書箱 十二三〇号
日 常 出 版 株 式 会 社
電話 〇三(八)三三三〇(一)機
振替口座 東京 三三九一

聖籠町・聖山大学



実践記録シリーズ

(35)

「実践記録」のあれこれ、いろいろと影響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

推せん入学の誇り

大盛況で留年を認めず

当町に高齢者学校・聖山大学が、推せんされたという責任感を感じています。現在の公民館が、今の場所に移転新築された翌年の四十八年です。そして、今年はいよいよ五年目。今の大学生は五期生にあたります。

当町では、入学に際しては、町にある十八の単位老人クラブから教養程度推せんしてもらい、いよいよ推せん入学で、約五十名前後の規模で二学期で運営されています。推せんされた入学者には、所定の老人クラブから推薦状が出されています。このこと、ごまかす言いがちで、

参加者本間ヨシさんの感想文から

私は、まだ若い気で居たので、私的にも若くなりますし、喜びもすがすがしく、密着した自分の姿に愛想が湧きます。また小ちゃい孫娘に「ババちゃん」と言われ、短い腰を曲げて手を後にまわし、小ちゃい口をのたまわげにじつじつと、こけいな微笑を浮かべて真似をされます。あまり可愛らし

地引網はたのしかった。私は、まだ若い気で居たので、私的にも若くなりますし、喜びもすがすがしく、密着した自分の姿に愛想が湧きます。また小ちゃい孫娘に「ババちゃん」と言われ、短い腰を曲げて手を後にまわし、小ちゃい口をのたまわげにじつじつと、こけいな微笑を浮かべて真似をされます。あまり可愛らし

もういよいよという事から、一部である「実践記録」を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

今、計画は別表の通りで、今現在、十二回までを終了しています。学習課題の特徴としては、一般教養と合わせて、「郷土を訪ねて」という等での町巡り、地引き網のレクリエーション、相撲・速書等の身近な法律の勉強、そして運動と親睦を兼ねた新築市高齢者学校との交歓運動会等があることです。それに今年は「老人の生理と医学」という事で講座を実施しましたが、これは、思いのほか反響がありました。

姿や格好などすっかり忘れて、若返った気持ちで積極的行動を共にした事、本音で楽しく愉快に過ごさせて貰ってまいりました。卒業後と言っても、お手紙や課目表を拝見して、思い浮かべて楽しむ事でもあります。私は文字がとても下手なので誠に恥しいので戸惑いながらも、聖山大学という文字には、はさまれて書いて見ました。

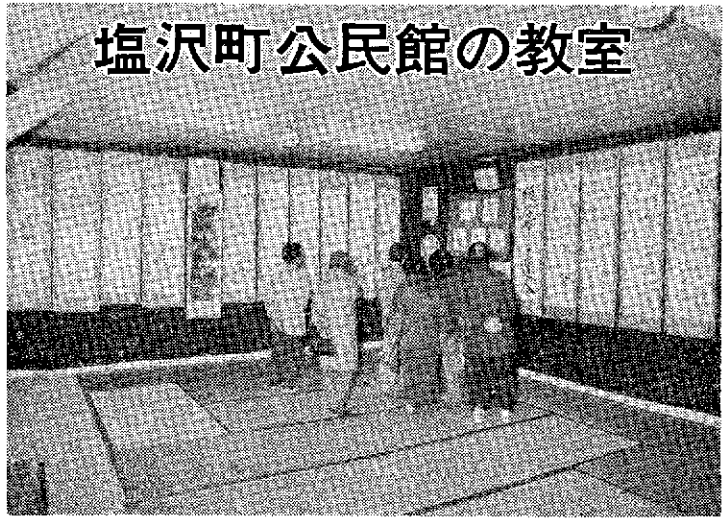
昭和52年度 聖山大学学習予定表

No.	予定期日	学習課題	講師・助言者等
1	4.22	入学者の学習について	公民館長
2	5.6	町政について	町長
3	5.27	老人福祉について	社会福祉課長
4	6.10	野外活動	町立山倉小学校長
5	6.24	信託と人間の老後	新築田保健所長
6	7.15	くらしを守る法律1	地引き網
7	8.19	くらしを守る法律2	永泉寺住職
8	9.16	交歓運動会	社会教育指導員
9	10.6	修学旅行	弁護士
10	10.20	時の話題	弁護士
11	11.18	「伝承と昔話」と心のふるさとの歴史	町内の名所旧跡
12	1.20	老後を語る	中学校教諭
13	2.24	修了式	映画
14	3.24		郷土史研究者



健康づくりも大切な学習課題のひとつ。みんな元気よく腰を伸ばして大玉送り。

塩沢町公民館の教室



高年者趣味の教室

作品三百余点がアピール

塩沢町公民館では、昨年から高年者趣味の教室を開校している。この事業は、高年者社会を反映して、年々高年者が増加している現状から社会教育の中でも大きくとり上げ、高年者の孤独を解消し高年者が各自の趣味を通して精進される生活を始め、より多くの仲間づくりが求められるように開設されたものである。

◆事業の内容及び運営
旧塩沢中学校の寄宿舎を改造して、高年者の方々がいつでも気軽に集まり使える長寿会館をワークルームとして、盆栽・手芸・書道・絵画・生花・わら細工・菊づくり・染織の八コースを設定し、技術指導者を引き寄せ進めている。

現在、塩沢町には、五十七の老人クラブがあり、その会長さんを通じて各コースの参加希望者の氏名を選出、事業の計画を立て、活動が進められている。

運営は参加者が全く自主的に運営しており、公民館は、講師の手配や予算的な面で相談ののっている程度である。

各コースとも役員を中心に、できる限り楽しい自分達の教室を営む努力が凝らされている。

現在、数善に参加している入会者は百八名で、毎月二回ないし三回開校されている。

「オ、この年までこんな元気はない」「気が驚かなくて、これほどだぞ」「ハハハ、今の夫はオラが若い頃の夫とは、だいぶ形がちがったネー」

染織コースの「ニマ、なれなれ、手つきが粗いぞ、思い通りの形にしてかまへ入れ、焼き上げった作品をママから出す手もどを見つめる目は、しんげんそのもの。

本年度「趣味の教室」が開かれ、私は書道と手芸の教室に参加させていたが、さして、ものを造ってみたいことは、何と楽しい事でもない。

書道は、なかなかむずかしい事ですが、先生はさしてもの熱心にあさしく丁寧に指導下さりますので、小野々道風の話を通じて一生懸命頑張ると張り切っているような次第でございます。

今では、立派な花瓶や水盤まで作り上げ、家族の人達に賞賛されるようになったっており、指導の先生方も目を見はっている。

このようにして、各コースとも楽しく一年間の学習が続けられ、その成果を披露する意味をなめて、秋には高年者の作品展が開かれる。

五十三年度も十一月五、六、七日の三日間、長寿会館で開催された。出品された作品は、いずれも、派手なもので、絵画三十三点、書道

書道にも増して、手芸教室の楽しさは、又一入でございませう。

「一つ二つ作品の出来上がり、私に見せて頂戴したか、何でも、お褒めが楽しいです。」「とても面白くて、不器用さんか問題ではあります。」「もっと時間が必要、とでも年なんかとってほねれませう。

和気あいあい、相手の親密計画下の方々に深く感謝致し、来年も是非「焼く」焼くたいと願って止まれません。

参加者も三日間で延べ七百人を超える盛況で、お茶さんの運転で会場においでになった幾組かのお年寄りの姿も見えて、ほのほの心あたたまる情景があった。

会場からは「これは見事だ」「素晴らしい」「是非、譲り受けた」といつたことで、商談の成立した作品も数点あった。

このように、好評のうちに進められている高年者趣味の教室は、更に大きくその輪を広げようとしている。

塩沢町公民館長 上村久嘉

この間、盆栽とわら細工の教室を見せしめましたが、何でも、お褒めが楽しいです。」「とても面白くて、不器用さんか問題ではあります。」「もっと時間が必要、とでも年なんかとってほねれませう。

和気あいあい、相手の親密計画下の方々に深く感謝致し、来年も是非「焼く」焼くたいと願って止まれません。

予算のすべて

◎高年者趣味の教室	
報償費	365,300円
実技指導員謝金	365,300円
需用費	86,000円
指導員用教材費	86,000円
◎高年者作品展	
報償費	63,300円
審査員手当	19,800円
参加賞、賞品	43,500円
需用費	78,421円
印刷費	49,800円
消耗品費	11,071円
食糧	17,550円

にぎやかな作品展

新潟県公民館月報は、本号をもって通巻300号になりました。

集る 学ぶ つなぐ 公民館

